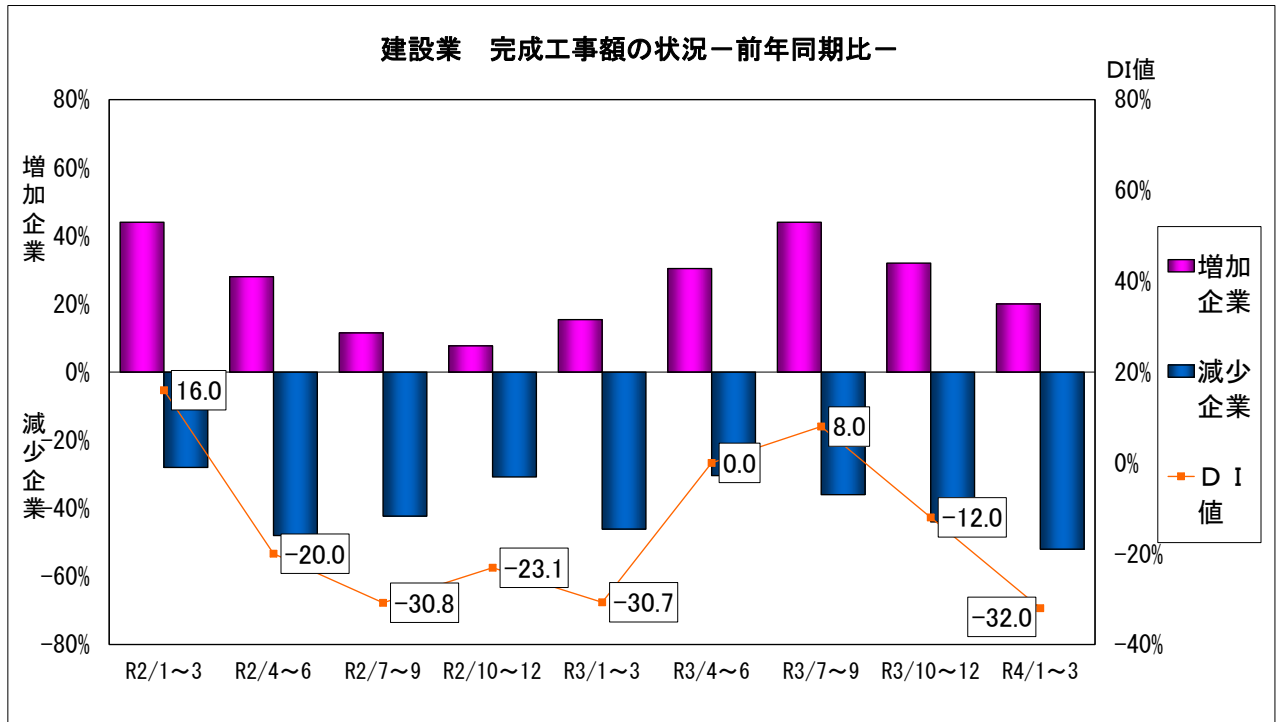




(2) 主要項目の概況

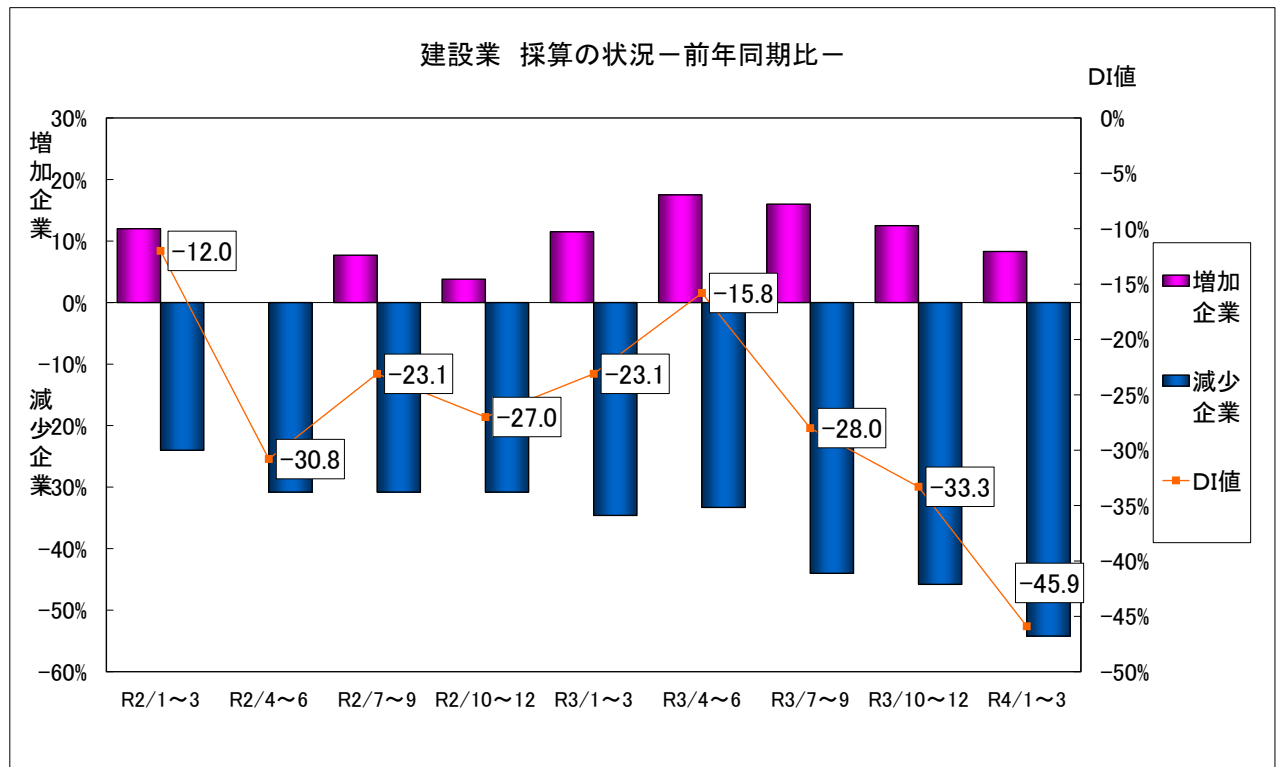
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事（請負工事）額DI値は-32.0。前期-12から-20ポイント低下した。来季の見通しは-40.0の予想である。



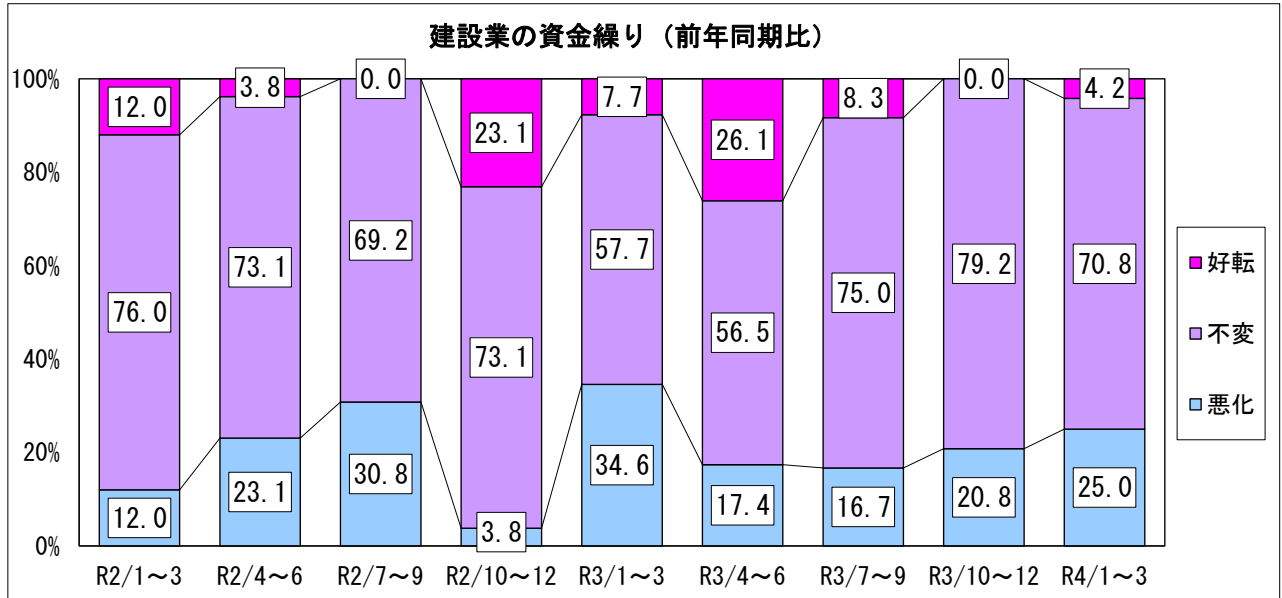
②採算（前年同期比）

今期の採算（経常利益）DI値は-45.9。前期の-33.3から-12.6ポイント低下した。来季の見通しは-33.3の予想である。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は-20.8。前期の-20.8と同ポイントとなった。  
来季の見通しは-16.6の予想である。

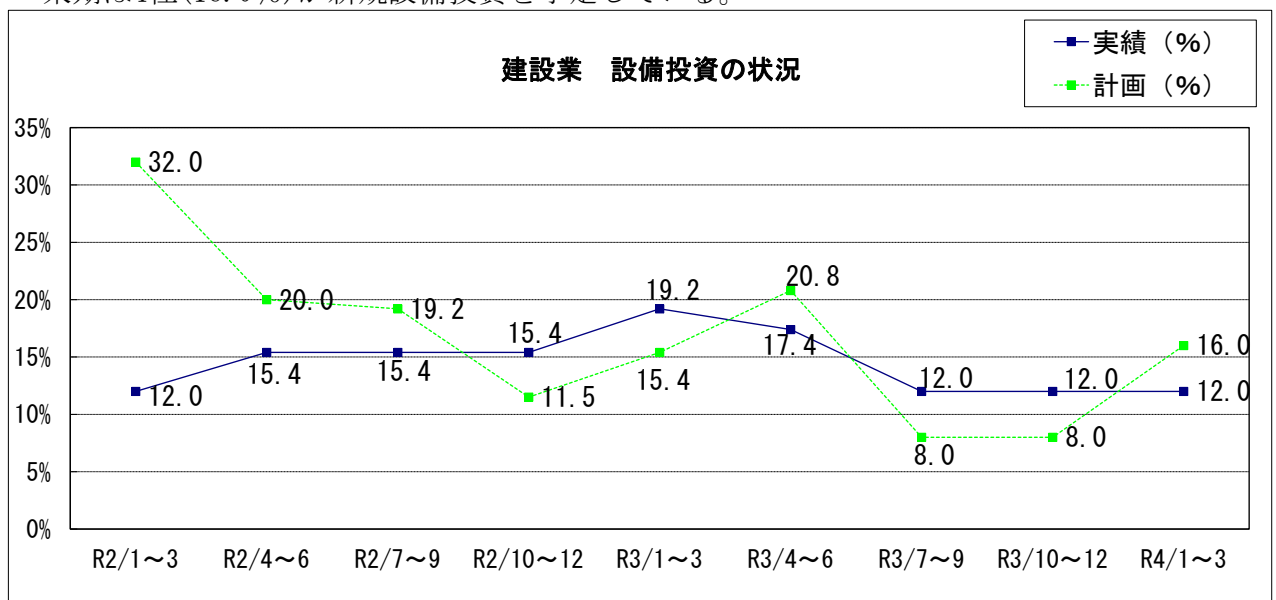


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	3	0	0	0	0	0	1	0	2	22
(%)	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	88.0
今期実施 (実数)	3	0	0	1	3	0	0	0	0	22
(%)	12.0	0.0	0.0	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.0
来期計画 (実数)	4	1	2	2	2	0	0	0	0	21
(%)	16.0	25.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.0

今期設備投資を実施した企業は3社(12%)前期(令和3年10月~12月)の実施企業3社(12%)  
来期は4社(16.0%)が新規設備投資を予定している。



⑤経営上の問題点

今期、建設業が経営上の問題点として一位～三位にあげる項目は

- ・「材料価格の上昇」 (前期62.5%→今期58.3%)
- ・「材料の入手難」 (前期37.5%→今期37.5%)
- ・「官公需要の停滞」 (前期25.0%→今期29.2%) となっている。

